



- 2 エッセイ / “おかね” を語る
脳とお金 解剖学者・東京大学名誉教授 養老孟司



- 4 インタビュー
笑う 日本医科大学名誉教授 吉野槇一
- 9 地域の底力 ― 奥会津
奥会津書房を訪ねて 福島県大沼郡三島町

- 15 column / 一字千金
「中抜き」の時代 時事通信社「金融財政」編集長 萩原慎一郎



- 16 対談 / 守・破・創
**スーパーの王道は食品市場。
一見「つまらない売り場」こそ魅力です。**
オール日本スーパーマーケット協会会長 荒井伸也
日本銀行政策委員会審議委員 春 英彦



- 20 池上彰のやさしい金融経済教室
日本銀行の「さくらレポート」

- 24 にちぎんのある街から
大阪 洗練された文化が息づく街



- 28 クローズアップ・あの日あの時
日本銀行誕生秘話 「中央銀行ナル者ハ一國金融ノ心臓ナリ」

- 32 知るぼると招待席
「全国キャラバン金融講座」in 東京 現場レポート
～ 下北沢商店街にお店を開こう！～

- 34 トピックス

- 35 AIR MAIL from LONDON
郵便屋さんの公園

表紙のつづき



堂島川と土佐堀川に挟まれた中之島のほぼ中央に位置する日本銀行大阪支店は、辰野金吾博士とその弟子である長野宇平治等が設計し、明治三十六年に完成した。日銀本店（本館）をモデルとして展開させたもので、明治三十年代の辰野博士の作風を示す好例と言われる。真ん中にドーム型の屋根とその両脇に三角屋根を組み合わせた形になっており、ネオ・ルネサンス様式と呼ばれる荘重端正な技工が特徴的。屋根の上には美しい意匠を凝らした避雷針が二本ある。築後約八十年たつて、老朽化と地盤沈下が進んだため、昭和五十五年から五十七年にかけて、復元・改築工事を実施。改築計画に当たり、市民の方々などから強い保存要望が寄せられ、できるだけ当時のままに復元した。水の都大阪を象徴する景色が広がる中之島で、明治時代の趣を今に伝えている。